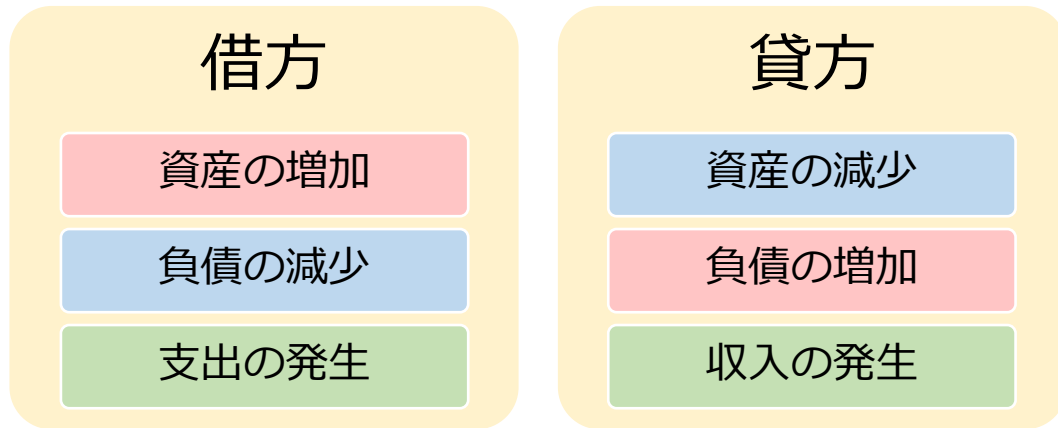


かんたん！早見表

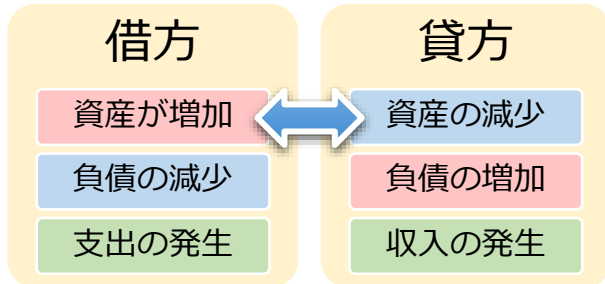
「会計係さん7」では、「資産／負債／収入／支出」の4種類の科目を使います。
仕訳の基本的なルールはたったの6つです。借方と貸方に分けてみるとこうなります。



【使い方】

表の使い方をいくつかの事例で説明します。

・普通預金から現金を10,000円引き出す



- ・普通預金(資産)が減少する = 資産の減少(貸方)
- ・現金(資産)は増加する = 資産の増加(借方)

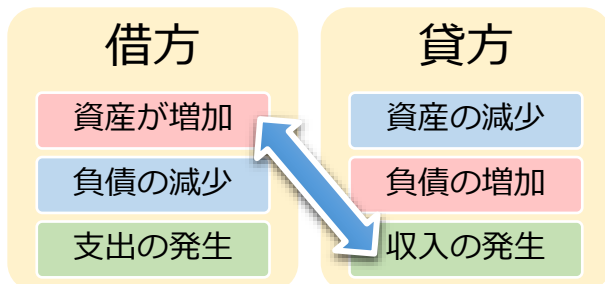
実際の仕訳は

借方		貸方	
現金	10,000	普通預金	10,000

となります

※預け入れの場合は、借方と貸方を逆にします

・班長さんから集めた会費を現金で50,000円受け取った



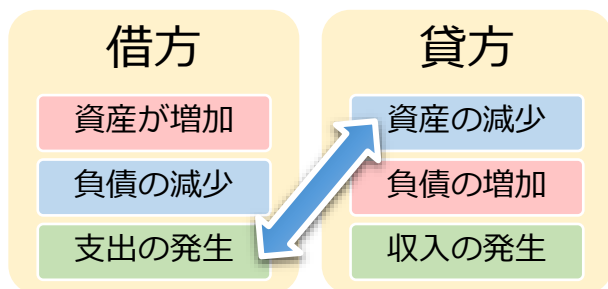
- ・会費(収入)を受け取る = 収入の発生(貸方)
- ・現金(資産)は増加する = 資産の増加(借方)

実際の仕訳は

借方		貸方	
現金	50,000	会費	50,000

となります

・ 回覧のためのコピー代、300円を現金で支払った

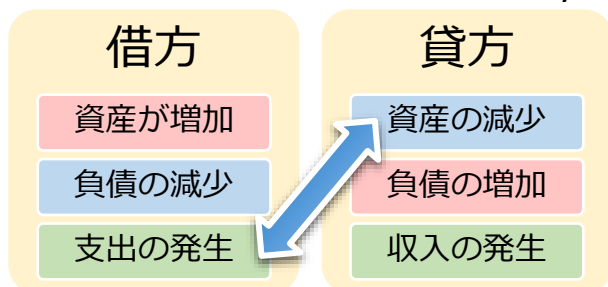


- ・ 現金(資産)が減少する = 資産の減少(貸方)
 - ・ コピー代(支出)を支払う = 支出の発生 (借方)
- 実際の仕訳は

借方		貸方	
印刷費	300	現金	300

となります

・ 普通預金から公民館の修繕費を100,000円振り込み、手数料が840円かった

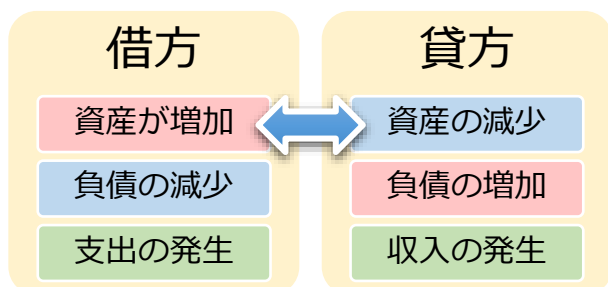


- ・ 普通預金(資産)が減少する = 資産の減少(貸方)
 - ・ 電気代(支出)を支払う = 支出の発生 (借方)
 - ・ 手数料(支出)を支払う = 支出の発生 (借方)
- 実際の仕訳は

借方		貸方	
修繕費	100,000	普通預金	3,500
手数料	840	普通預金	630

となります

・ 行事の準備のため、担当委員さんに仮払金30,000円を預けた

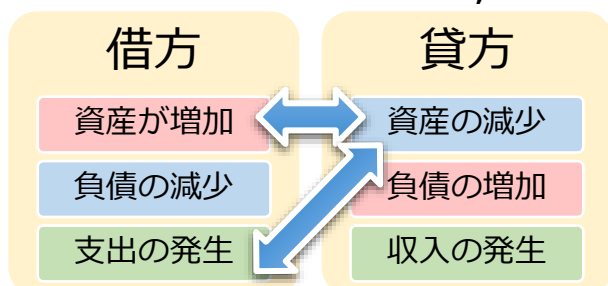


- ・ 現金(資産)が減少する = 資産の減少(貸方)
 - ・ 仮払金(資産)は増加する = 資産の増加(借方)
- 実際の仕訳は

借方		貸方	
仮払金	30,000	現金	30,000

となります

・ 行事後、担当委員さんから28,000円分の領収書と、仮払いの残り2,000円を受け取った



- まず、「仮払金から行事費を支払った」仕訳は
- ・ 仮払金(資産)が減少する = 資産の減少(貸方)
 - ・ 行事費(支出)を支払う = 支出の発生 (借方)
- 次に、「仮払金の残金を受け取った」仕訳は
- ・ 仮払金(資産)が減少する = 資産の減少(貸方)
 - ・ 現金(資産)が増加する = 資産の増加(借方)
- となります。伝票にまとめると、

借方		貸方	
行事費	28,000	仮払金	28,000
現金	2,000	仮払金	2,000

となります